

小沢映子後援会だより
⑪

四っ葉のクローバー

一般質問

居宅介護を主とした 介護保険について

二〇〇七年六月

介護保険がスタートして8年が経とうとしています。介護保険制度は、私たち誰もが必ず訪れる老後、その老後の最大の不安要因である介護問題に因應するため、高齢者が介護を必要とする状態になっても尊厳をもって、自立した生活を送ることができるよう高齢者の介護を社会的に支える仕組みです。

二〇〇六年から介護保険が改正になりました。今後、超高齢社会を迎え、認知症高齢者や一人暮らし高齢者の増加が見込まれるなかで、改正された介護保険で

は、これ以上給付を増やさないと、介護予防を重視しました。また、地域密着型サービスの新しい仕組みは、他の市や町の人は使えません。あくまでも住んでいける身近な地域で、まさに地域と密着して高齢者が身近な地域での生活が継続できるように支えていくという新しいサービスです。



しかし、地域密着型サービスは、より目の届きやすい市の責任下におかれました。今までのように県ではなく、市に指定・監督の権限があります。

では、どんなサービスがあるのでしよう。

- * 小規模多機能型居宅介護（一つの拠点で、デイサービスを中心に通って、泊まって、自宅にも来てくれる。身近な地域の中で、顔なじみの介護職員から様々なサービスを受けることがで
- * 認知症対応型共同生活介護（高齢者グループホーム）
- * 認知症対応型通所介護（デイサービス）
- * 夜間対応型訪問介護（事業者と契約して、夜間の巡回サービスや通報に応じて来てもらう心強いサービスです）
- * 地域密着型特定施設入居者生活介護（ケアハウスや、有料老人ホーム）
- * 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（29人以下の小規模な特養ホーム）



きます。認知症の方にとっては、混乱が少なく、利用の自由度が高い。）

地域密着型サービスがスタートが必要なわけですね。いよいよ症
 状が進んでくると、介護保険だけ
 採算が多くは望めないといわれて
 いる中、幸いにも富士市は地域密
 着サービス事業に名乗りを上げて
 くれる事業所が多くあります。
 既に小規模で利用者本位の質の高
 いケアをしている事業所も見受け
 られます。

「鶴岡市を初め、いろいろ工夫し
 てサービスをつくり出しています。
 ケアマネさんや、いろいろな事業
 者が連絡会議ですとか、協議会と
 かを重ねてネットワークができて
 いるので、多分そこで苦しんでい
 ると思うんですね。この家族を
 何とかしたいけれども、時間が足
 りないとか、上乗せがないので仕
 事を何とかしてもらえないと
 か、そういうときにニーズがある
 現場で制度ができていったら、本
 当に一番合ったものができるので
 はないかなと思います。ただ、富
 士市は福祉、介護保険にかけるお
 金はもうこれだけと決められてい
 ると、その方たちも、仕方ない、
 この中でやるしかないという思い
 があります。市長が、そういうと
 きは言いませんが、工夫して、本当
 に必要なサービスだったら予算も
 ちゃんつけますよというスタン
 スを持っていくと介護保
 険課の方も動きやすいし、予算も
 上げやすいし、ケアマネさんたち
 も光が見えてくるのではないかな
 と思います。」との質問に、市長
 は「幾らでもいいですよというこ
 うに考えております。」との回答
 がおかげさまで今年度の予算も
**市民の福祉向上のため
 に還元をするべきだとい**

しかし富士市では夜間対応型の
 訪問介護はめぐっていません。
 （平成十七年に一般質問したとき
 の答弁では、二十年度に富士市で
 も始めるとの回答でしたが。）
 また、市に指定・監督責任があ
 るのに伴って、二ヶ月に一度、そ
 れぞれの事業所ごとに行う運営推
 進会議があります。ほかに、ケア
 マネ等の研修会や連絡会議、在宅介
 護センター、介護保険事業者の連絡
 会議、地域のケア会議、運営協議会
 等々いくつもの会議があります。
 その会議を充実させて、**提供**
されるサービスをいか
に高めていくかということ
 も市の重要な責務となっています。
 認知症の方は介護保険だけでは
 とても足りません。24時間見守

山形県鶴岡市 見守りサービス

認知症の方は症状が進んでくると24時間見守りが必要になります。介護者が仕事を持ちながらだと、介護保険ではとても足りません。
 視察に行った鶴岡市では、見守りサービスを実施していました。4箇所のNPO法人に委託して、認知症の支援について講義を受けた有償ボランティアの方で、利用するお年寄りとの関係づくりが、訪問して顔見知りの関係を作ります。話相手をしなが見守ります。介護はしませんが、トイレの誘導ぐらひはします。すると、その方と話をすることで高齢者の方も落ちつき、仕事をやめなくても介護をしていくことができるというような状況になっています。鶴岡市は、一人登録することに事業所に1万円を訪問1時間毎に850円負担します。利用者の負担額は、1時間200円でした。それほど市にとっても大きな負担にはなっていないようです。北海道の本別町の見守りボランティア、青森市のケア付き青森ねぶた、岩手県大船渡市は介護劇、群馬県は早期診断、滋賀県の守山市はもの忘れカフェ、北名古屋市の回想法ですとか、まだほかにもたくさんの市町村が工夫してサービスをつくっているのです。



一般質問

精神障害者の自立と 社会参加の支援について

二〇〇七年九月

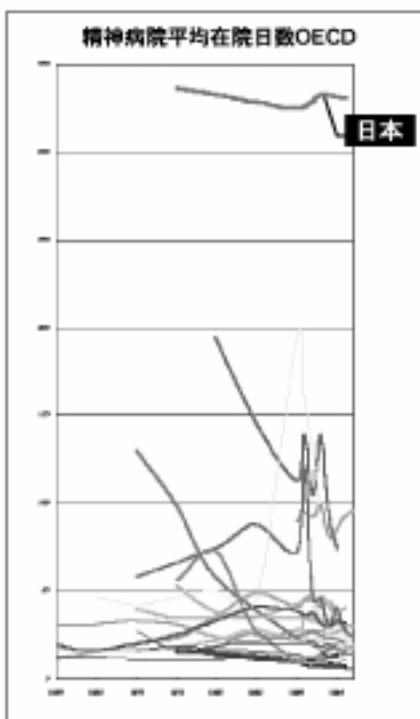
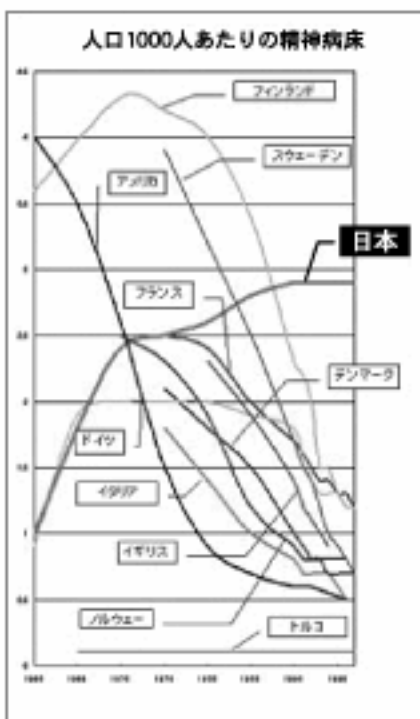
日本は世界に類を見ない「精神病院大国」と言われています。五十万から一九六〇年代後半には

入院患者は三十二万人、平均入院期間は三五日と突出しています。科のベッド数の国際比較です。

また十年以上の入院が全体の三割を占めています。欧米先進国では一九五〇年代後半から新しい抗精神病薬の開発、人権意識の昂揚な

どの影響で精神医療は、精神病院施設中心から地域生活支援中心への移行(脱施設化と呼ばれています)が活発となりました。アメリカではその主要精神医療施設である州立病院の病床が一九五〇年代の

深刻なのは入院の必要がなくなっても社会に戻れず、病院にとどま



精神障害者団体は「人生の時間を奪われてきた長期入院患者は、国の隔離収容政策の犠牲者。地域に行き場をつくる正攻法に力を入れず、施設入所を続けるなら、ハンセン病と同じ過ちをたどる」と話しています。

「ここ富士市の現状はどうでしょうか。」

「24万都市でありながら、作業所や日中の居場所(地域活動センター)は1ヶ所づつしかありません。県内外の他市と比べても圧倒的に少ない数です。日中の居場所と住居、がなければ地域生活は成り立ちません。市に精神障害者や知的障害者のグループホームを増やすために、市営住宅の積極的な活用を促しました。また、作業所の支援もあわせて要望しました。」



台北視察

十月四〜八日



「家庭教育に関しての条例」を半日以上かけて、みんなで日本語に訳しました。次の日曜日台風は去ったものの故宮博物院を始め学校や総ての公共機関はお休み。前日訪れるはずだった国立大学の先生方がお休みに関わらずホテルまで来てくださって、日本語やら英語やら中国語が飛び交いながら、意見交換は、大変勉強になりました。

十月四〜八日、台湾の台北市と台北県に視察に行ってきました。女性議員三人初の台湾でした。富士市議会初の海外視察だと思えます。台風にびったり合ってしまった。予定していた。教育委員会や教育局の見学がキャンセルになってしまいました。がしかし、せっかくなお願ひした通訳さんと街話になったホテルで、前日、視察先の大学で頂いた台湾で出された世界初の「家庭教育学」の研究の心臓部を見学してきました。これはまたすばらしい経験ができました。とにかく台湾の皆さんは親切で、熱烈歓迎に感激しました。

三二集会を

持ちたいと思います。
4.5人でもいいので
呼んで下さいね。
日頃思っている事を
どんな事でも結構です。
気軽にお話し
て下さいね。



今後の予定

議会報告会

- 2008年1月26日(土)
- 14:00～16:00
- フィランセ4F大ホール
- 第1部 視察・研修報告
- 第2部 議会報告
- 第3部 行政懇談&質疑応答

★報告者：小澤映子・横井美由紀・山下いづみ

是非お気軽にご参加ください。



ご意見・
ご要望は
こちらまで

小澤映子後援会事務所

〒417-0001 富士市今泉5-6-45
TEL・FAX 0545-52-5299
メール eiko@tx.thn.ne.jp
URL <http://web.thn.jp/ozawa/>

日々、ブログ更新中です。
遊びに来て下さいね。